

令和4年度

学校関係者評価報告書

愛媛県立今治西高等学校

学校番号 (14)

評価実施日		令和 5年 3月 (書面開催)	
委員	氏名	所属等	備考
	松浦 昭始	元県立高等学校教頭	
	村上 篤夫	企業経営者	
	野間 逸人	税理士	
	小山田 憲正	寺住職	
	吉武 美由紀	病院事務長	
	村上 雅浩	全日制PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校生活について</p> <p>「心の悩み」をサポートする相談室の利用について、SNSのトラブルや問題行動の改善に向けて、放課後のみの開室でなく、昼休み時間も利用できるようにする、週によって優先の学年を決める、複数でも可と表示するなど、生徒が気軽に利用できるような呼び掛け、働きかけが必要ではないか。(全)</p> <p>2学期の出席状況が、出席率・皆勤率ともに昨年より良好であるのは感心した。以前見られていたような、先生だけでなく、生徒たちも励まし合って出席を促すことで連帯感を生み、互いの意識レベルを高めていた姿が、続いてほしいと思う。(定)</p> <p>(2) 学習活動について</p> <p>朝の読書時間が良い。(全)</p> <p>目標の大学に進学できるように努力してほしい。(全)</p> <p>(3) 特別活動について</p> <p>愛媛マラソンのボランティアに270名が参加したとは素晴らしい。おもてなし文化に触れるなど、いろいろと学ぶ機会になったことと思う。今後も継続してほしい。(全)</p> <p>マラソン大会の代替えとして12月に実施されたウォークラリーでは、全校生徒が参加し無事にゴールしたとのこと、有意義な活動となり良かった。(定)</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 学校活動の参観についてについて</p> <p>今年度もコロナ禍で、学校行事等での生徒たちの様子を見ることができず残念であった。(全)また、生活体験発表を聞く機会があれば良いと思う。(定)</p> <p>(2) 地域に根差した教育について</p> <p>来年度以降、学校生活は正常化すると思われるが、コロナ禍で希薄になった保護者や地域とのつながりを円滑早急に取り戻すことが課題だと感じる。急速に少子化や人口流出が進む今治の状況を鑑みると、今治地域を活性化する人材の育成ができなければ本校の存在基盤そのものが失われると感じている。今後、スクールミッションに掲げたように、グローバルマインドを持った人材の輩出を期待する。(全)</p>	<p>・毎月のスクールライフアドバイザーの来校日時など、教室掲示に加えてclassiで生徒、保護者に発信し周知している。保護者からの相談についても個別に対応できるように配慮している。来年度からは担任との面接週間の回数を増やし、生徒が悩みを相談しやすい雰囲気づくりを学校全体で行っていく。</p> <p>・今年度は生徒の出欠の管理システムを変更したこともあり、昨年度に比べると出席率・皆勤率は向上した。様々な理由で欠席や遅刻が重なっている生徒がいるので、きめ細かな粘り強い支援を行う。</p> <p>・図書委員の呼び掛けなど、クラスによって工夫した実施がなされており、来年度も引き続き実施する。</p> <p>・多様化する入試形式や生徒のニーズに応えられるように情報共有を密にし、面談や教科指導に当たる。</p> <p>・愛媛マラソンのボランティアだけでなく、他の活動にも積極的に参加し、物事の見方や視野を広げていける環境づくりに努める。</p> <p>・今年度は、縮小された学校行事も含め、工夫して実施することができた。来年度は、生徒の意見が生かされるようにスケジュールの調整を行う。</p> <p>・学校行事や学習の成果を見てもらうことは、生徒にとっても励みとなる。保護者、来賓ともに、参観いただく機会を増やしていく。</p> <p>・来年度は、学校行事に加えて講演会等についても保護者参観の機会を設けたいと考えている。</p> <p>・今年度、総合的な探求の時間では、1年生の企業訪問を実施することができた。地域の魅力について再発見する良い機会となった。来年度も、「グローバルな視座」をテーマに、課題研究を実施する。また、2年生では「学問の魅力」をテーマに、高大連携講座や産官学連携講座、社会共創講座などを設け、地域社会と連携した学習を進めていく。</p>